

# 政府出展の意義・理念・テーマ

2023年1月  
農林水産省・国土交通省

# ■ 政府出展の意義（案）

## 2027年国際園芸博覧会の背景と目的

### 国際社会で共通の地球環境の持続に関する課題

- 地球温暖化等に伴う気候変動（＝Carbonに関する課題）
- 生物多様性の損失（＝Natureに関する課題）

※グローバルリスク報告書2023年版（世界経済フォーラム）では、これらが長期的なリスクの上位を占める。

### 今後の社会経済活動の「鍵」となる自然資本の保全と持続的な利用

- SDGsを支える土台となる自然環境と密接不可分な分野（水・衛生、気候変動、海洋資源、陸上資源）
- GX（グリーントランスフォーメーション）にも寄与

## 2027年国際園芸博覧会

### 自然資本、とりわけ植物に焦点をあてて自然との関わりを見直し再構築する機会へ

- 植物は人間の暮らしに身近な自然資本（食料、資源、文化の基盤等）
- 生物生息域の提供や、二酸化炭素の固定等を通じ環境問題と密接に関連

## 政府出展の位置づけ

- 本博覧会のテーマを先導し、国の政策への理解と具現化を促すとともに、来場者の理解と行動を促すための出展を実施
- 1990年大阪花の万博以降の取組の成果を真摯に振り返り、時代に求められる取組を共有するとともに、その具現化や社会実装を進める機会とする。

# ■ 政府出展の意義（案）

## 政府出展に当たっての問題意識と危機感

### 大阪花の万博以降の取組

- **法制度の制定**
  - ・地球温暖化対策推進法
  - ・生物多様性基本法 など
- **行政分野での政策の推進**
  - ・地球温暖化対策計画
  - ・生物多様性国家戦略 など
- **自然との共生に係る日本の知恵や取組の国際的な評価**
  - ・COP10におけるSATOYAMAイニシアティブに関する決議

### これからの課題

- 自然を活用した解決策（NbS）の導入  
自然・生物多様性の回復（Nature Positive）
- **地球規模生物多様性枠組（COP15）の推進**
  - ・30by30
  - ・生物多様性へのリスク等のモニタリング
- **グリーンインフラの推進**
- **みどりの食料システム戦略の推進**

### 課題解決へ向けての方法論の提示

課題解決のための方向性は、以下の取組を通じた個人と社会全体のWell-beingの向上

- Society5.0等を活かしつつ、環境負荷の小さい循環型の暮らしや新たな都市像、みどりの食料システム戦略に基づく持続性の高い農業や消費の構築
- 優れた景観による観光領域の創生での交流人口の拡大等、気候風土に育まれた個性豊かな地方創生
- 自然資本を活かした技術や産業を通じた経済成長

自然との共生を礎として営まれてきた日本の暮らしと、それが育んできた日本の風景（ランドスケープ）、その暮らしを支えてきた、鎮守の森や里にみられる知恵及び、農業、林業、園芸、造園などの植物との関わりがもたらす思想や技術を見つめ直すとともに、今日得られている最先端の知見・技術を加えて、**未来へつなげる方法論へと再構築**

都市における  
理解と行動

自然や農の持続性

産学官の参画

国民運動的な  
理解と行動の推進

## ■ 政府出展の理念（案）

### ① 日本の暮らしとともにある自然観の見つめ直し

日本の自然に係る思想、文化、美意識を振り返り、植物をはじめとする自然と共生してきた自然観を見つめ直す場とする。さらに、植物が果たす多様な機能や役割と文化等を背景に、それらを活用してきた日本の知恵や技術の巧みさを再認識する場とする。

### ② 花や緑、農、大地を礎とする日本の将来像の提示

日本に古来から受け継がれてきた、鎮守の森や里にみられる知恵や新たな知識・技術を結集し、花や緑、農が果たす多様な役割を基盤とする持続可能で幸福感が深まる社会や暮らしを、国際的に共有可能な日本の将来像として提示する場とする。

### ③ 自然と人・社会との関係性の最適解の具現化

自然と人・社会の関係性について、世界各地の生活文化・知識・技術と交流しながら最適解を模索できる機会を提供する。それにより、人々が個々に花や緑、農と生きる風景を想起し、気づきを得て、その後の探求や実践を促すことを目指す。

## ■ 政府出展のテーマ（案）

- (1) 政府出展の意義、理念を包含し、端的に伝えるためのテーマを設定する。
- (2) 日本の自然観を象徴し、国際社会に発信すべき概念として「みどり※」をキーワードとしたい。

(※)物理的・空間的機能や効果だけでなく、良好な景観や地域の歴史・風土、生活文化の形成や自然観、郷土愛の醸成等、国民の精神性や満ち足りた幸福感、心身の健康の向上など多くの価値観を包含する包括的な概念をより強く込めた言葉（「新しい時代における「みどり」の整備・保全・管理のあり方と総合的な施策の展開について（国土交通省）」より）

- (3) また、理念で掲げる「日本の将来像」から読み取るべき「持続性」と「well-being」をキーワードとしたい。
- (3) これらを主要なキーワードとして、以下の案を参考に議論していただきたい。

### 【テーマ】

#### (案1) みどりでつむぐ明日の暮らし

- ・ Weaving the Future Life from “MIDORI (Green)”
- ・ Weaving “MIDORI (Green)” into the Future Life

#### (案2) みどりとつくる持続可能な社会

- ・ Creating/ Sketching Green society for sustainable future and well-being

### 【副題】

みどりと共にある社会と暮らしの探求（屋内展示） ・ 百景（屋外展示）